

B S 隊との合同集会

～美味しくできたぞ！世界のカレー～

3月6(日)BS隊との合同集会を行いました。テーマは、野外料理「世界のカレー作り」。CS隊では先の組集会で、世界の国と地域について学ぶと共に、国の特徴がでるカレーのレシピを作って食べようという事で、どの国を選んでどんな特徴を出すか考えました。その結果、1組はオーストラリアカレー、2組はスイスカレーとなり、そのレシピは次のようになりました。

1組：オーストラリアカレー

人参、玉葱、りんご、ひよこ豆、パプリカ
オージービーフ、キウイ、コアラのマーチ

2組：スイスカレー

人参、ジャガイモ、りんご、牛肉、チーズ
チョコレート

このレシピの材料をBS隊に調達してもらい、CS隊で各組野菜等の調理をしました。机や椅子とフライの設営はBSスカウトがあつという間に用意してくれました(さすが～)。



DLから包丁やピーラーの使い方を習い、一生懸命野菜を切りました。見ていると少し危なっかしかったけれど何とか終了。ご飯とカレー作りはBS隊スカウトとリーダーにお願いしました。ごはんは、炊飯器で作るだけでなく、一部は立ちかまどで作りました。CSスカウトが見守る中、立



ちかまどが完成、新聞ひいて土盛って位置調整、スゴイスゴイ拍手です。火入れしてご飯を炊きました。ご飯が出来る間に後片付けです。ゴミを集めて、袋につめて、テーブルふいて、手を洗って、そうこうする内にご飯も炊きあがったようです。少し火が強過ぎたのか、立ちかまどでのご飯も少し？おこげが出来ましたが、こんな経験はなかなか出来ないと、みんなで少しずつ取り分け、炊飯器のご飯を足して後、それぞれ組毎のカレールーを



かけ、オーストラリアカレーにはキウイとコアラのマーチ、スイスカレーにはチーズをトッピングしてカレーの完成。BS隊のスカウトも一緒にみんなでありがたく頂

くことにしました。「いただきま～す！」「おいし～！」おかわりも順番待ち、ルーもご飯もあつという間に無くなってしまいました。「ごちそうさま！」



ご飯の後、BS隊、CS隊力を合わせて後片付け、あつという間に終わりました。



みんなで作ると早いね。その後、BS隊と合同で時間を体感するゲームとウルフカブズ・ハンドブックにあるナイアガラ滝事件をヒントにしたロープを使ったゲームを実施しました。みんなで楽しくゲームが出来ました。カレーは美味しく、ゲームも楽しい合同集会と



なりました。清水BS隊長、指導者、スカウトの皆さん、本当にありがとうございました。CS隊スカウトもBS隊のスゴサを感じた事だと思います。改めて、感謝々々、楽しい合同集会となりました(久保井隊長)。

しじみ採り

～寺家ふるさとの村～

3月27日の隊集会は、こどもの国の東に位置する寺家ふるさと村でシジミ採り体験です。この日は、小学4年生の女の子もお母さんと見学に来てくれました。



午前9時に生田駅に集合し、柿生駅まで電車で移動。柿生駅からは、約3.2kmのハイクです。みんな去年から高尾山、耐寒ハイクと経験を重ねているので疲れも見せず、へっちゃらな様子。約1時間のハイクで寺家ふるさと村に到着しました。

リーダーの注意事項を聞いた後、長靴に履き替え、しじみ採りを開始しました。日本本土の在来種としては、汽水性のヤマトシジミと淡水性のマシジミ、セタシジミの計3種が生息しているそうです。



今日のターゲットは、淡水に生息するマシジミです。

始めは、泥に手を入れて採るのを嫌がっていたスカウト達も一度泥んこになってしまえば、洗濯するお母さんの気持ちなんてどこえやら……。シジミの他にもタニシ、ドジョウと普段目にしない様々な生き物に出会えました。

木々に囲まれた場所でカブ弁を食べ終えた後、東日本大震災が起き、大変な事態を見聞きしてどう感じたのか、ぼくたち(わたし



たち)にできること・取り組めることは何があるか?について一人一人家で考えてきたことを、みんなの前で発表しました。

“電気をこまめに消す(節電)”、“水を出しっぱなしにしない(節水)”等、被災者が今本当に困っていることを感じ、発表したどのスカウトの宣言は立派でした。

発表後は、自然の中でゲームです。山の斜面を利用したロープ結びリレー、背中に自動車ナンバープレートを貼り、他の組に読まれないように逃げ回る“ナンバープレートゲットせよ!ゲーム”。ロープを使った久しぶりのゲーム。苦戦するスカウト多かったです。



1時間たっぷり走り回り、帰りのバスの中ではぐっすり眠ったスカウトもいました。閉会のセレモニーは、柿生駅前で行い、待ちに待ったクリア章第1号(しかスカウト2名)が誕生しました。おめでとう!北村副長製作のミニカブキャップも授与されました。他のスカウトも2人に続こう!



15時30分生田駅到着。10月から一緒だったデンコーチとも今月でお別れです。先輩の姿を見てスカウト達は、多くのことを学び取ってくれたと思います。ありがとう(若島副長)



羊毛フェルト製
ミニカブキャップ

東日本大震災募金活動

～多くの善意集まる～

4月3日(日)“ぼくたち(わたしたち)に今できること”として、東日本大震災の募金活動をビーバー隊からローパー隊まで全隊が集結して実施しました。

前日の春の暖かさから一転、時折、冷たい北風が吹き、気温が7度に達しない真冬の寒さの中、制服・正帽姿で向ヶ丘遊園駅、生田駅及び新百合ヶ丘駅に分かれ、午前10時から2時間、スカウト、保護者、指導者が一体となって呼びかけました。



向ヶ丘遊園駅南口



向ヶ丘遊園駅北口



生田駅南口



生田駅北口

震災で多くの方が亡くなり、3週間が過ぎた今でも、

行方不明の方が大勢いる大惨事となり、日常ではない現実が今も受留め切れない部分があります。先日私が研修でお世話になった石巻第6団のベンチャー隊長(日本連盟のトレーナー)が亡くなった訃報を聞き、まだ信じられません。多くのスカウト関係者も被災され、今もなお不自由な避難生活を送っていることだろうと思うと、毎日不自由なく生活できることの幸せの有り難味を改めて痛感します。



新百合ヶ丘駅南口
オーパ前



新百合ヶ丘駅南口
小田急アコルデ前

3月20日の組集会でのリーダーとの話し、27日のしじみ採りで実施した発表、そして募金活動を通じて、スカウト一人ひとりが、困っている人を助ける気持ちと日々の生活の中で、小さな力を発揮し続けていく気持ちを大切にしたいと思っています。

活動終了後の集計作業で、約47万円を超える善意となりました。本当に小さな力が大きな力となったと感じました。この募金は、4月9日(土)代表スカウトとなった2人の組長から、日本赤十字社へ手渡す予定としています。ATMで振込をすれば簡単なことですが、自分達で届けることの意義をスカウト教育の一環として体験させたいとリーダー間での意見となりました。その模様は次号にお伝えします(北村副長)。



上記写真は、寺家ふるさとの村で咲いていた桃の花です。「2011.3.11」は本当に忘れられない日となりました。被災地でも多くの草や木々、花々までもが津波で一瞬のうちに流されました。大自然の恐ろしさと自然の恵み。私たち人間の力は自然には逆らえないと分かりつつ、復興への長い道のりを支えていく気持ちを持ち続けたいものです。